

Title: 「全力疾走」



遠藤 謙介
1989年174cm55kgの
の人生の大イベント
をしっかりと駆け抜け
て、太って帰って来
ます。

●最近のエントリー

- 📅 只今、デリー～生フンコロガシ～
(2010.06.29)
- 📅 只今、デリー～いざ!砂漠の甘へ～
(2010.06.29)
- 📅 只今、デリー～怒濤の更新～
(2010.06.29)
- 📅 只今、ジャイサルメル～私の活動限界2時間～
(2010.06.21)

●アーカイブ

- 📅 2010年10月
- 📅 2010年09月
- 📅 2010年08月
- 📅 2010年07月
- 📅 2010年06月
- 📅 2010年05月
- 📅 2010年04月
- 📅 2010年03月

●投稿カレンダー

●カテゴリー一覧

●ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS
Your Vision, Our Future



「全力疾走」 > 2010年06月 アーカイブ

10.06.29

只今、デリー～生フンコロガシ～

Tweet

いいね! 0

チェック

クーリー3日目にキャメルサファリをしました。
夕方の16:00頃
ガイドさんと共に2頭のラクダに乗って出発



砂漠といっても砂だらけという訳じゃなく、草木も生えていますので2時間歩いた先にある砂丘を目指します。
ラクダも水飲んでパワーアップ



途中広い荒野に出て放し飼いされている牛や羊などもいました。



目的地まであと少し



砂丘に到着するとラクダをそこらへ放す。ちゃんとどこへも行かないみたい。
2時間もラクダに乗っていたのでお尻と内太ももが痛くなってました。



月と谷本



この日は風が強くて砂がすぐに足に積もるほど。
ガイドさんは夜の夕食作りも手際がすばらしい。
夜には無数の星空が.....

そんな夢は見事に打ち砕かれました...
月が明る過ぎて星が見えない...
そして風.....なぜ強くなる...

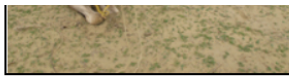
これは何かの修行なのか...
そんなこともありましたが、夜の砂漠で飯食って、寝て、「なんかスゲーです。」



朝目覚めると大量の砂が身体に積もっていました。
これは酷かった...
そしてラクダ失踪!!
これはまずいのでは...

28時間ほどかけてガイドさんが見つけてくれました。
よくぞ見つけたガイドさん!!
しかしなぜラクダを何かにくくり付けなかったのだガイドさん!!





なんとか無事帰還。
いろいろありましたが良い思い出です。

疲れた~~~~~

カテゴリ:

post by 遠藤 謙介 | 日時: 2010.06.29 | [パーマリンク](#) | [コメント \(1\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[「全力疾走」 > 2010年06月 アーカイブ](#)

只今、デリー〜いざ!!砂漠の村へ〜

[Tweet](#)

[いいね!](#) 0

[チェック](#)

6/22~26

ジャイサルメルからクーリーへ移動

ジャイサルメル10:00発のバスに乗るためバスタードへ向かったのですが、バスが来ない...

どうやらミスで10:00発は来ないみたい

次は13:00発

バックバックがあるためどこかへ暇つぶしへも行けず炎天下で待つバス...
と、思いきや10:30ぐらいにクーリー行きのバスが来た!!

乗り込みが結局出発は13:00

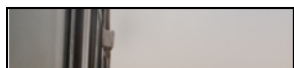
ここからひたすら待つ...

暑い...暑い.....もはや無言...

すっかり13:00出発

クーリーはジャイサルメルから約50km離れた場所にあり、お隣パキスタンまでも約50kmとかなり近いです。

クーリーまで約2時間





タール砂漠をひたすら走ります。

15:00ほどに到着

ゲストハウスは予定どおりのアルジュンさんのとこへ

実はジャイサルメールのバススタンドでアルジュンさんと会っていきましてスムーズにここまで来られました。

こちらがアルジュンさん。そして仕事熱心な子供のジト



部屋にはベッドがあるのみ

三餐（野菜生活～THE健康～）付いて1泊100Rは安い!!

なぜこれで成り立っているのかというとキャメルサファリがあるからだと言っていました。そんなこと言われるとキャメルサファリを体験しないと申し訳ないような...まあ始めから体験する予定でしたけれども

キャメルサファリについては次回のブログで

クーリーは本当に何も無い村というか

でも観光客は来るんです

ほとんどはキャメルサファリ目当てのみですけど。

どうやら日本人と韓国人が多いみたいでハングルが書かれているG.H.もあります。

最初はなにかと不安でしたがミネラルウォーターもあったのでお腹を壊さずに済みました。



命の水。店を潰すのではないかとと思うほどたくさん飲ませていただきました。

そしてヤギ、牛、猫、犬、羊、ラクダ...

どんどん動物天国になっていきます。





夜はみんな星空の下で寝ます。宿泊客が私たちだけだったので私たちも星空の下で毎日寝ました。涼しくて気持ちいい。



風が強い日は目覚めると顔に砂が積もっていることもあり寝起きは最悪ですが...

朝の気温が低い時に撮影をして昼間はダウン、そして夕方にもまた撮影そんな生活。

20:00ぐらいに日が沈むので1日が長く感じます。

ここで谷本さんがKL施設から4期生の山本先輩が置いていったスポーツドリンクの粉末が活躍!!
(賞味期限が切れていましたが関係ありません!!)
この粉末でどれだけ頑張ろうと思った事か...
山本先輩ありがとうございました!!



撮影するため村を散策すると観光客慣れた子供達が集まって笑顔で「1ルビー」「アイスクリーム」「コーラ」と寄ってきます。
これがこの子達の仕事なのだと思います、こちらも笑顔で「無いよ」と言う毎日。
もはやあいさつです。

寺院に行ったり、結婚式の宴会に招待されたり、クリケットやったり、ここでも布買わされそうになったり、様々な出会いがありました。





撮影的には今までと変わらないテンションでできたと思う...

自分の場合気合い入れて「よし!!撮影に行くぞ!!」ってスタイルではなくどこでも撮るので、ふらふら歩いて何気なくパシャって撮っているというか...

まあこれで2回目のスクリーニングで今までと違う写真をセレクトしていたらいつの間にかインドの魔力にやられていたってことで

カテゴリ:

post by 遠藤 謙介 | 日時: 2010.06.29 | [パーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

「全力疾走」 > 2010年06月 アーカイブ

只今、デリー～怒濤の更新～

[Tweet](#)

いいね! 0

チェック

6/20～21

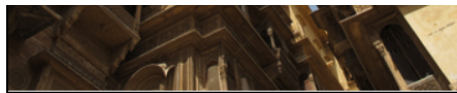
ジャイサルメール

昨日のワクワクは一体どこへ...

撮影をしに散策したが何も沸き上がってこないような～

サリーを着た女性達も魅力的で城もすごいし、ハヴェーリー（昔の貴族たちの私邸で今も大家族で住んでいる）も立派ですよ。





確かにすごいです、私のワクワクは1日限りみたいでした。

まあいつも通りですから

カディサル湖
ジャaisalメールのオアシス的存在らしいです。



神殿のようでも神秘的でした。
でもアヒルさんボートがあったりして〜穏やかに時間が過ぎます。

泊まる場所によってその街の見方も変わる気がします。
音楽家の多いエリアがあるのですがそこはとも賑やかな人達が多かったです。
少女達は音楽が聞こえると家の屋上で華麗に踊りだしても魅力的でした。
ジャaisalメール最終日に新たな一面を知れてよかったと同時に後悔も... こっちのエリアに泊まっていればな〜なんて思ったり

23:00ごろには打ち上げ花火が上がってスピーカーのボリューム大で音楽が鳴り響いたと思えば
道路でみんな踊り歩いていたりしてお祭り騒ぎ





なんだかんだ面白く、魅力的な街でした。

カテゴリ:

post by 遠藤 謙介 | 日時: 2010.06.29 | [バーマリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

「全力疾走」 > 2010年06月 アーカイブ

10.06.21

只今、ジャイサルメール～私の活動限界2時間～

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

6/17

プリーからデリーへ移動

先日のブログにも書いた通りデリーに着いた途端プリーは涼しかったのだと気付く。
なんなんだいこの暑さ
酷暑だ。

空港からニューデリーまでのタクシーのあの熱波のような風は今でも鮮明に覚えています。

ニューデリー

「ウォー、なんだこりゃ!!」率直な感想

「あちい～」これも率直な感想



戻ってくるときには映画でも見よう

6/18～6/19

デリーからジャイサルメールへ移動

ジャイサルメールまで鉄道で約19時間

A/Cがある寝台列車選んどいて本当によかったです。

なかったら脱水症状になっているんじゃないかと思いました。





爆睡して気付いたら砂漠地帯 砂埃激しい～

カメラのメンテナンス重要ですね プリーでは潮風にやられジャaisalmerでは砂にやられ私のカメラもそろそろ危ないような... 最近少し調子が悪いです。まあいざとなれば椿君、野尻君、岡田さんに借りよう なんと私のメインカメラの所持者が私含め4人もいるのですね～!! その時がきたらよろしくお願いします。

ジャaisalmer～

まるでRPGの世界に入り込んだみたい(表現が幼稚ですいません。)





スカーフを巻いていたらインド人に爆笑されました。



撮影が楽しみです。

post by 遠藤 謙介 | 日時: 2010.06.21 | [バナーリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

カテゴリ:

「全力疾走」 > 2010年06月 アーカイブ

只今、ジャイサルメール～なのにプリー書く～

[Tweet](#)

[いいね!](#) 0

[チェック](#)

プリーをざっくり書きすぎたので少し細かく

私たちが泊まっているホテルは漁村に近くビーチもそこまで人はいませんでした。しかしリキシャで少し行った先にはゴールデンマーケットと言うビーチ沿いに中級ホテルが立ち並ぶ通りがあって様々なお店がありました。そして私たちがいつも通うビーチよりも遥かにインド人観光客が多くてすごい賑わいでした。プリーにもこんな賑わいがあったのかと少し驚き



プリーではこの季節1年に1度のお祭りがあるみたいで仲良くなった人に連れて行ってもらいました。





本当にこの先でお祭りがやっているのかと最初は不安でしたが、奥に進むに連れて賑わってきました。



家族連れでたくさんの人達がこのお祭りに来ていてシートを敷いてカレーを作っていたりしてワイワイと楽しんでいました。



日本の花見みたいな感じです。
様々な出店も出ていました

そんなに日本と変わらないですね



友達に勧められてヘナってやつもやりました。
まさか私がこれをやるなんて...
右手にはシヴァさんが出現しましたが、手にやってしまったため夜のシャワーで半分なくなりました...

腕にやってもらえばよかった～



私にはできない...

post by 遠藤 謙介 | 日時: 2010.06.21 | [パーマリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

[「全力疾走」 > 2010年06月 アーカイブ](#)

10.06.17

只今、デリー～プリーの暑さは優しかった～

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

デリー暑い!!!
「暑い!!!」じゃない
もはや「あ~~~~」

プリーをお伝えします

6/9～6/10

徳田さんとウォンさんに見送られマレーシアからインドのコルカタへ



マレーシア、シンガポールと都会的だったため、久々のこの騒がしい感じ



モンスーンの時期に入り雨がよく降ります。でも暑い
コルカタは2日間しかいなく、しかも大体ホテルの中にいたので、暑いぐらいしか印象に残っていないのが事実。
インドの歩き方が意外と活躍

6/11

この日からみなさん撮影地へ向かいます
私、穂積君、谷本さんは午前3時に出発
空港に向かうタクシーで外眺めてコルカタもおもしろそうだなと少し後悔

コルカタからブバネシュワルまで飛行機で約1時間
そこからタクシーで今回の撮影地のプリーまで約2時間の移動



移動中の風景を眺めているとベトナムやカンボジアを思い出してインドに来たという実感はまだしないような。

6/12～6/15

プリーには漁村があります。それにジャガンナート寺院という大きな寺院もありインドの観光客もたくさんいます。ビーチにもインドの観光客がたくさん



見知らぬ観光客が写真撮ってと言って来たり、シュールなわら人形が落ちていたり、ビーチに

いるだけですぐ1日が終わってしまう日もある。
漁村は意外と大きい。



そして優しい人と微妙に優しい人とそうでない人のバランスが絶妙な気がした。

漁村を歩いているといるんどこから「写真撮って!!」や「ちょっと寄ってきな」等、声をかけて来たり、子供がくっついて来たり
撮ったら純粋に喜んでくれる人もいればお金を要求してくる人もいる。
インドは様々な人がいて自分はおもしろいと思う。(まだプリーだけです)





只、暑い
寝汗かいてシャワー浴びて
昼食食べて汗かいてシャワー浴びて
撮影して汗かいてシャワー浴びて
夕飯食べて汗かいてシャワー浴びて
普通に汗かいてシャワー浴びて

海風は涼しいのですが、基本暑い
適度に撮影、適度に休憩して頑張ります。

こちらのホテルはメニューにカレーがなく、ほぼ毎日このチーズトマトスパゲティを食べてます



今までのトップ3に入るおいしさです。



谷本さんは元気です

カテゴリ：
post by 遠藤 謙介 | 日時: 2010.06.17 | [バーマリンク](#) | [コメント\(4\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[「全力疾走」 > 2010年06月 アーカイブ](#)

10.06.09

只今、KL 7～最後の安らぎ～

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

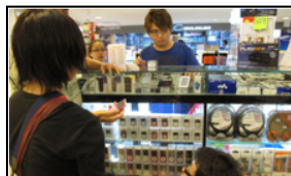
[チェック](#)

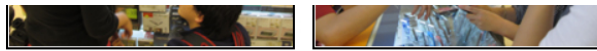
6/6～6/9

シンガポールからKLの施設へ帰ってきました。

これから過酷なインドが始まるので完全休養日が3日間あります。
それなのになぜか私は体調を崩してしまい、38°Cの熱を出しました。
でも1日で治ったので無事インドに入国できそうです。

みんなはこれからの旅に必要な物を調達しにショッピング





携帯、iPod、HDD、などなど私も1TBのHDD買いました。

その中でもみんなから注目を浴びたお買い物商品はこれ



iphoneより多機能みたいで海外でも日本でも使えるみたいです。そしていろいろとお得みたい。

日本円で約30,000円なり～
斉藤先生、谷本、濱口が購入
今濱口が使いこなせるように頑張ってます。
3人に感想聞いてよかったら2回目のスクーリングの時に買おうか検討しよう

そして私がマレーシアで買った携帯がこちら



機能は連絡がとれる事。日本の携帯を使うより安い。日本では使えない。
日本円で約3,000円なり～

これが貧富の差です...

でもいずれ買うかもしれないのでね

夜はみんなでインドへ向けて頑張ろう会(普通にみんなで飯食べただけです)



ウォンさんありがとうございました。

明日からインド、これでしばらくはカレー生活になるでしょう。
名残惜しいよチャーシュー飯、しばしのお別れだ

インドは例年以上に酷暑だそうで場所によっては45℃以上が毎日続いているそうです。
頑張ろう.....

KL施設でお世話になった大家さん、ウォンさん、徳田さん、山田さん、志村さんありがとうございました。
そして第2回目のスクーリングの際もまたバタバタとうるさいのがたくさん行きますがよろしく
お願いします。

FW中盤戦スタートです!!!

カテゴリ：
post by 遠藤 謙介 | 日時: 2010.06.09 | [バーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

「全力疾走」 > 2010年06月 アーカイブ

10.06.06

只今、KL 6～シンガポール奮闘記～

[Tweet](#)

いいね! 0

[チェック](#)

同じタイトルが続くのでサブタイトル付ける事にしました。

5/27～31

第1回目のスクーリングが終わりました。

第2回目のスクーリングで自分がどうなっているのか非常に楽しみであり少々不安
飯塚先生、鈴木先生、ありがとうございました。



スクーリングが終わり、シンガポールの写真展へ向けて少ない休養期間を有意義に使うみなさん



斉藤先生はみんなの海外慣れっぷりに驚いてました。

6/1～6/5

シンガポールへは鉄道移動

本当だったらタイからマレーシアが鉄道移動だったのですが、タイがなくなってしまい急遽バスから鉄道へ変更。





約10時間ほどでシンガポールへ
マレーシアとシンガポールなにが変わったか私にはよく分かりません
街がキレイということとマラーイオンがいるぐらいかな～

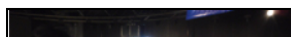
ホテルへ向かい荷物を置きすぐ写真展会場のナショナルジオグラフィックストアへ
今年も日本とシンガポールのオリンパス・イメージング様のご協力で、実現したこの写真展。
今回はナショナルジオグラフィックストア内に展示させてもらう事になり、会場を見て改めて
すごさを実感しました。

準備風景から



尚、展示する写真はブログ同様ですべてこのFW中にオリンパスμThough-6010で撮られたもので
す。
そして写真用紙はビクトリコ様から提供していただいたビクトリコプロ・フォトペーパーを使用
しています。

写真を見ていただいた人からは「このカメラ水中でも大丈夫なの!?」や「とてもきれいな写真だ
ね」などたくさん声をいただきました。
また今回は学校側の全面サポートもあり、全員浴衣を着ての写真展です。
理事長・五十嵐先生もシンガポールにいられてサポート万全。
会場ではシンガポールの新聞社や雑誌社からの取材もありみんな対応に励みました。
2日目の19:00からは学生のレクチャーがあり遠藤、谷本、濱口、矢野、野尻が自分の写真をス
ライドしながら英語で話しました。





浅井さんの写真を見れば分かると思いますが、お客さんがたくさんいる中のレクチャーはとても緊張しました。ですが五十嵐先生の英語のサポートもあり自分が持っている能力をすべて出し切れたと思います。
五十嵐先生ありがとうございました。

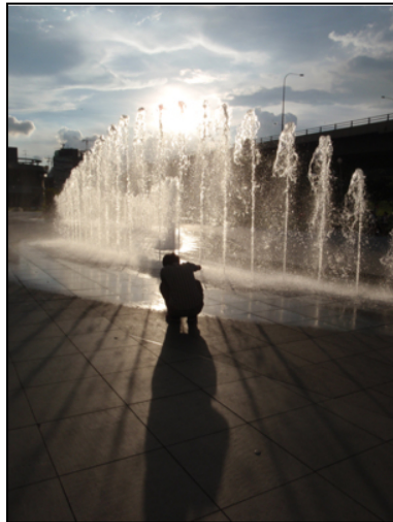


このような経験ができることを幸せに思うと共にこれからは繋げていければなと思いました。

また、この写真展開催のために協力して下さったオリンパス・イメージングの松崎様をはじめ、現地で協力して下さったアントニオ様、会場を提供して下さったナショナルジオグラフィックストアシンガポール様、また理事長・五十嵐先生をはじめとした学校関係者の皆様、本当にありがとうございました。

私が見たマーライオンは大きかった...





帰りはバスで5時間ほどですぐKLへ
近いよマレーシア

カテゴリ：
post by 遠藤 謙介 | 日時: 2010.06.06 | [パーマリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)